



## 図書館だより

KPU LIBRARY NEWS

釧路公立大学附属図書館

図書館だより 第8号

2007年7月1日発行

〒085-8585 釧路市芦野4-1-1

0154-37-5097

E-mail:library@kushiro-pu.ac.jp

### 新聞切り抜きのすすめ

小路行彦（図書館長）

研究室の机の上に、長いこと滝平二郎の切り絵がおいてある。絵はがきである。切手には消印があるが、私宛の住所も差出人の名前もない。自分で買ったものか、人に貰ったものか記憶がハッキリしない。ただその切り絵（「雪」）を見て、時々昔を懐かしむことがある。

あることがきっかけで、高校3年の時から新聞の切り抜きを始めた。今でも覚えているのは、「わが思索・わが風土」という朝日新聞の連載記事で、加藤周一や花森安治が書いているのを切り抜いて何度も読んだ。『雑種文化 日本の小さな希望』（講談文庫）の加藤周一とはその後も長い付き合いとなった。滝平二郎の切り絵も、朝日新聞の日曜版で初めて知り、これも切り抜いて、長い間持っていたが、どこにしまったのか今は見あたらない。

学生時代は、いろんな分野の切り抜きをしていたが、卒業してアパートを引き払う時に処分してしまった。持ち運びが大変な程に切り抜き帳が増えてしまったからである。今は講義に関係する記事を切り抜いているが、項目ごとのケースに上からどんどん入れていだけなので、余り時間もスペースもかからない。今年から「日経テレコン21」が導入されたので、古いやつから捨てていくことができる。便利になったものである。

新聞のデータベースは大変便利だが、何に関心をもつかは、日々の現実との切磋琢磨が必要ではないだろうか。新聞の切り抜きはこの点で大いに推奨できるものである。どんな項目を立てるのか、まずここに皆さんの出発点が画されるが、その後どんどん項目が分化していくのは、興味が広がり、深化していくことでもある。こうした役割はデータベースでは難しい。私の場合、「滝平二郎」は、その後深化することがなかった。懐かしさには少し悔恨が混じっているのは寂しい。



### 土曜日も開館しています 10時～17時

今年の4月から土曜日も開館するようになりました。開館時間は10時～17時までです。ただし、春・夏・冬期休業期間と祝日は、休館となります。

もちろん、図書の貸出や他大学への文献複写依頼（学内者のみ）等、通常のサービスがほとんど受けられます。

まだ、あまり知られていないのか、これまでの利用状況は今一步というところですが、学内より学外の方の利用のほうが目立ちます。公立大生のみなさんもおおいに利用してください。

## 日本経済新聞の記事検索はこれで！

### データベース「日経テレコン21」が導入されました

「日経テレコン21」は、(株)日本経済新聞社が提供するオンラインの情報サービスです。  
下記のメニューがあり、新聞記事や企業・人事情報などを簡単に入手することができます。

**記事検索** 日経4紙（日本経済新聞・日経産業新聞・日経流通新聞 MJ・日経金融新聞）の記事検索

**企業検索** 企業情報・財務情報・信用情報などの検索

**人事検索** 有力企業、政府関係機関等幹部職員の人事情報

**マクロ&マーケット** 株価や銘柄情報、指数・為替情報等のマーケット情報と、マクロ・地域経済統計

**POS情報** 加工食品・家庭用品売れ筋商品ランキング

**ニュース**

**きょうの新聞**

学内であればどこからでも、何人でも同時に使用することができます。図書館ホームページの「オンライン・データベース」からログインしてください。使い方は簡単です。希望者には使用方法を書いたパンフレットを差し上げます。



電算実習室で利用するには 学内向Webページ 学内機関 図書館ホームページ  
オンラインデータベース 日経テレコン21

### 必見 教員によるおすすめHP &本（2007年版）できました

「講義を理解するため」、「さらにもっと深く勉強していくために」役立つホームページと図書を各先生に紹介していただいている『教員によるおすすめHP &本』の2007年版ができました。

プリント版（A4版23頁）は図書館にありますのでご希望の方はお持ちください。図書館ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧の上、参考にしてください。

### これも必見！

### 公立大教員によるブックガイド「公立大生のためのリーディング・リスト」

ご存知でしたか？先生方有志によるこのブックガイドもすでに6集まで発行されています。これは今勉強している事柄に限らないもっと広範囲な内容で、教養を広め人間性を深めるためのガイドブックとなっています。

先生自身が最近読んで印象に残った本なども挙げられていて、先生の人となりが見えて、なかなか興味深く、また身近に感じられます。他では絶対手に入らない貴重なブックガイドです。これを見逃す手は無い！ Vol.1.6「新入生編」は図書館にあります。バックナンバー綴りは、学生雑誌架にあります。